

# TOMIYA H.S. UNESCO NEWS LETTER

令和8年度 第2号 宮城県富谷高等学校 ユネスコ企画部発行 2026年10月



## ～令和8年度 T-time 2学年 課題研究～

「T-time」とは、富谷高校が独自に行う課題探究型の学習活動です。9月から2年生の課題研究が本格的にスタートしました。それに伴い、外部講師を招いて学ぶ機会を設けて実施しました。

### 【班編成＆テーマ検討(課題を捉える)】

6月30日(火)、課題解決に向けて自ら研究したいテーマを持ち寄り、似た課題意識を持つ仲間同士でグループを編成しました。これにより、今後研究を進めていく班が決定しました。

事前授業では、「第2次富谷市総合計画」を読み込み、一人ひとりの興味・関心と市の施策を結び付けながら研究テーマを絞り込みました。その内容を基に各部署に分かれてグループを編成した結果、全49班の研究グループが誕生しました。

今後は、各班で約1年間にわたり研究活動に取り組みます。メンバー同士で協力し、楽しさと真剣さを大切にしながら、主体的に課題解決を目指していくことが期待されます。



### 【研究企画発表会・大学模擬講義】

10月8日(木)、第2学年で「研究企画発表会・大学模擬講義」を実施しました。

研究企画発表会では、各班が地域や社会の課題について研究計画を発表し、大学の先生方から専門的な助言をいただきました。発表や意見交換を通して、研究方法や課題設定を見直し、今後の研究を深める貴重な機会となりました。

大学模擬講義では、各専門分野の講義を通して、大学での学びの広がりや、社会課題を専門的な視点から捉えることの重要性について理解を深めました。

今回得られた知見を今後の探究活動に生かし、各班が研究をさらに発展させることを期待しています。本校はユネスコスクールとして、持続可能な社会の担い手の育成を目指しています。今後も、地域や社会の課題に主体的に向き合い、多様な他者との協働を通して、新たな価値を創出する力を育んでまいります。



### 【企画発表会の順位発表と中間発表会に向けた研究活動】

10月13日(火)の授業では、前回実施した企画発表会の順位発表と振り返りを行いました。クラスルームで順位が発表され、その後、発表会にお越しいただいた大学の先生からいただいたアドバイスを改めて確認し、今後の研究活動に生かすための話し合いを行いました。

続いて、中間発表会までのスケジュールや今後の進め方について説明を受け、各グループで研究活動をスタートしました。中間発表会は11月19日に予定されており、本番まで約1か月しかありません。

限られた時間の中で、仲間と協力しながら計画的に研究を進め、それぞれのテーマをさらに深めていってほしいと思います。中間発表会での成果発表が今から楽しみです。



## 【ESD 講演会(社会科学分野)】



7月2日(木)5・6校時に、1学年を対象としたESD講演会(社会科学分野)が開催されました。GU 仙台セルバ店より綿引和子様を講師にお招きし、「“届けよう、服のチカラ”プロジェクト」についての講演を実施しました。

難民問題やSDGsの17のゴールについて考える貴重な機会となりました。綿引様からは、難民が置かれている状況や世界で何が起こっているのか、そして私たちにできることは何なのかについて、生徒たちへの問いかけやコミュニケーションを交えながら分かりやすく説明していただきました。生徒たちも積極的に質問を重ね、プロジェクトに対する意識をさらに高めることができました。

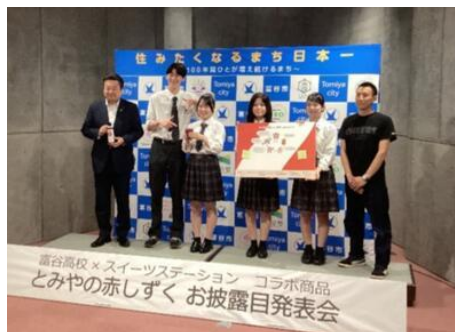
## 【とみやの赤しずく」販売および活動報告】

今年度の収穫祭で企画部3班が提案したオリジナルドリンク「とみやの赤しずく」が商品化され、ユートミヤ内のFLATWHITE COFFEE FACTORYで販売されました。完成を記念したお披露目会には、本校生徒4名がプレゼンターとして参加しました。

本商品は、富谷市の特産品である赤酢やブルーベリー、はちみつを使用したドリンクです。購入者には、生徒が考案したPRキャラクター「あかつぷ」を描いたまちづくり紹介カードを配布しました。また、ユートミヤスイーツステーション入口に「やさしさ共有ボード」を設置し、世代を超えた交流を促しました。

7月24日(金)から8月末までの販売期間中には約250杯を販売し、想定を上回る反響がありました。さらに、共有ボードには約500枚の付箋が集まり、温かなメッセージであふれる交流の場となりました。

本活動にご協力いただいた富谷市産業観光課、キオラガーデン、ICHICOの皆様をはじめ、ご参加くださった皆様に心より感謝申し上げます。



## 【“届けよう、服のチカラ”プロジェクト】

8月29日(土)、樹咲祭の一般公開が行われ、多くの方々に富谷高校の文化祭を楽しんでいただきました。

当日、ユネスコ委員会では、「届けよう、服のチカラ」プロジェクトの一環として、子ども服の寄付を募りました。このプロジェクトは、株式会社ファーストリテイリングがUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)と連携して実施する学習プログラムで、回収した子ども服を難民の子どもたちに届ける取り組みです。服を大切に再利用することを通して、SDGs目標12「つくる責任つかう責任」への貢献を目指しています。

本校はユネスコスクールとして毎年この活動に参加しており、今年もユニクロ・GUの協力のもと、地域の皆様から多くの子ども服を寄付していただきました。

ご協力いただいた皆様にご心より感謝申し上げます。寄付いただいた服が世界の子どもたちに届くことを願うとともに、今後も本活動へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

